

松本市総合計画

基本構想 2030・第11次基本計画

ダイジェスト版



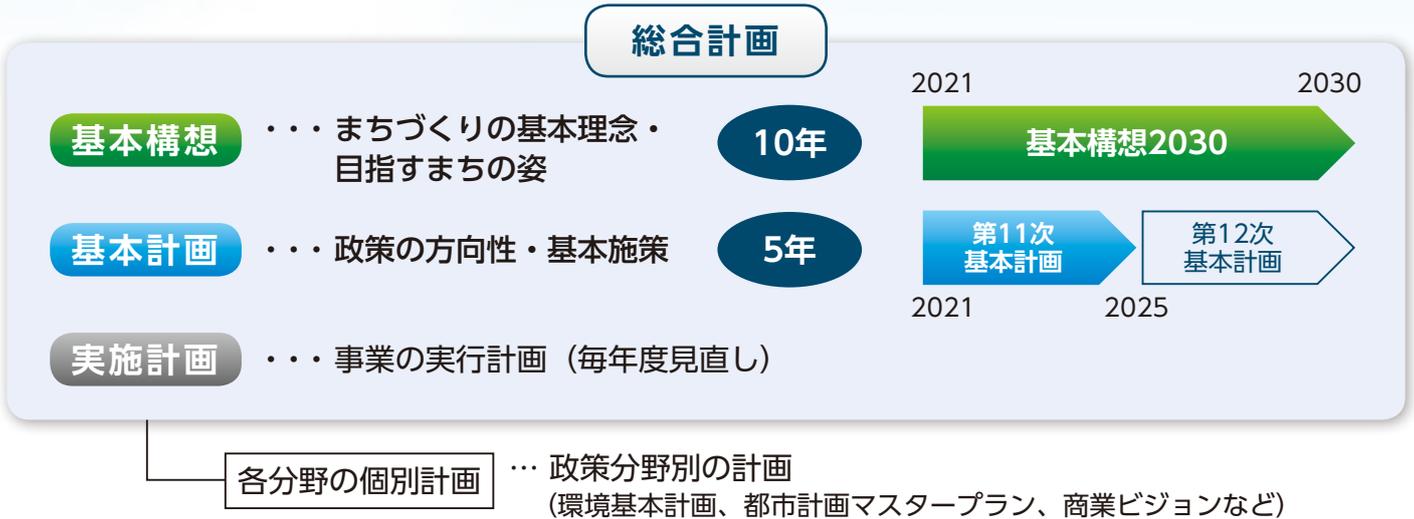
総合計画とは

松本市を将来どのようなまちにしていきたいのか、そのためにどのようなことをしていくのか、**目指すまちの姿**や**まちづくりの方向性**などを示す計画です。

計画の構成

総合計画は、「**基本構想**」、「**基本計画**」及び「**実施計画**」で構成されています。

市が策定する計画で最も上位に位置し、すべての計画の基本となります。各分野の個別計画は、総合計画と整合を図ることとしています。



前提となる社会背景

時代の大きな転換期

加速する少子化・高齢化・人口減少

脱炭素社会への移行

暮らしのデジタル化

激甚化する自然災害

脱東京一極集中

価値観やライフスタイルの多様化

ご存知ですか？「三ガク都」

松本らしさを象徴する
「**岳都**・**楽都**・**学都**」

- 3,000m級の峰々が連なる日本アルプスを擁し、多くのアルピニストを迎える **岳都・松本**
- バイオリンの調べやセイジ・オザワ 松本フェスティバルに代表される **楽都・松本**
- 古くから学問を尊ぶ進取の気質あふれる **学都・松本**

松本市人口ビジョン

人口推計

松本市の人口は、平成14年(2002年)の244,603人をピークに減少傾向で、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計に準拠した「人口推計」では、少子化・高齢化の更なる進展により、令和42年(2060年)には、201,679人にまで減少する見込みです。

人口に対する考え方

少子化・高齢化、人口減少が加速する中、最大の問題は、いわゆる逆三角形の人口ピラミッドで示される人口比率のバランスにあり、このバランスの悪さに起因して、医療費・社会保障費の増加に対する支え手不足や現役世代の負担増といった課題が顕在化しています。

当然、人口推計に基づく厳しい現実を直視し、こうした社会保障費の増大等の課題に取り組むことが必要ですが、**人口比率のバランスに起因する問題を根本的に解決するためには、平準化された人口構造を実現することが必要です。**

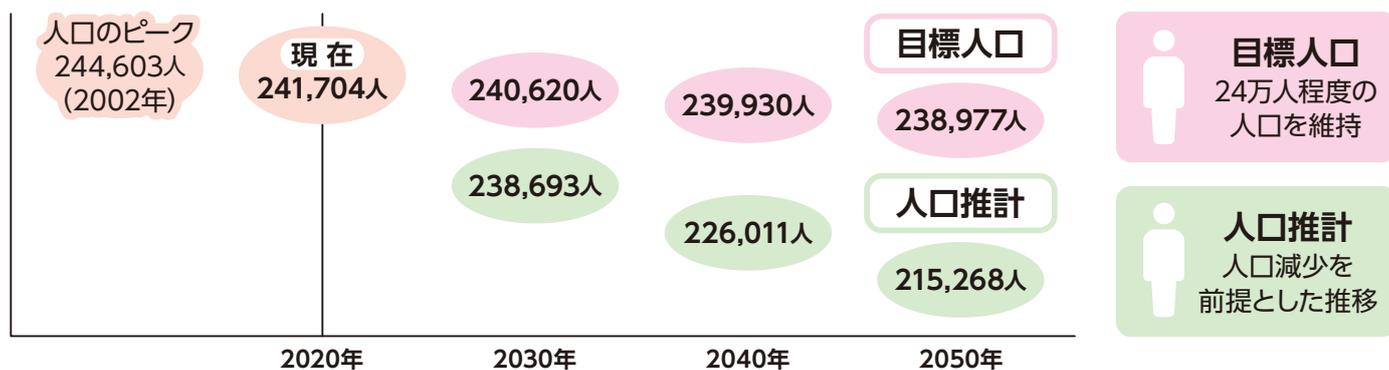
人口ビジョンでは、**自然増と社会増を実現し、世代間の人口バランスが取れた状態のことを「人口の定常化」と表現します。**

「人口の定常化」に向けた目標

人口推計では、推計上の最終年である令和42年(2060年)においても、「人口の定常化」を実現することは極めて困難な状況です。

一方で、脱東京一極集中の流れや松本のポテンシャルを最大限に活かして自然増と社会増に全力で取り組むことにより、人口推計の基準としている社人研の推計値以上の結果を生み出すことは十分可能です。

そこで、このような取組みを通じて、**地方都市の先駆けとして「人口の定常化」を実現することを目指し、そのために、「現在と同等の24万人程度の人口を維持する」ことを目標の1つに掲げます。**



「人口の定常化」に向けた取組み

将来に希望を持ち、安心して結婚・出産・育児ができる環境整備を行い、加えて、首都圏を中心とする大都市から松本市に魅力を感じて移住を考える人の着実な定着を促すことで、人口の維持・増加にチャレンジしていきます。

市民の豊かで幸せな暮らしを実現することにより、定住・定着を促し、全国の都市の中から、移住先として選ばれる「魅力あふれる都市」に

基本理念

松本市は、北アルプスに象徴される美しき山々と幾すじもの清流に囲まれ、国宝松本城をはじめとした歴史と伝統に培われた文化の薫り高いまちとして、発展してきました。近年は、充実した医療体制と健康寿命延伸の取組みが、市民の健康に対する意識を高め、新たな価値として認識されています。

時代が転換期を迎えている今こそ、先人たちが築いた素晴らしい「松本」を見つめ直し、磨きをかけ、価値を高めた上で、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

50年先、100年先の将来を見据え、これまでの慣例や固定観念にとらわれることなく、「何のために、何をする」を意識し、社会情勢の変化に柔軟に対応していくことが重要です。

改めて「人」を中心としたまちづくりのあり方を考え、人と自然や都市との関係をつなぎ直し、松本の地域特性を最大限に活かした循環型社会を実現することを目指します。

そこで、私たちは、

岳 自然豊かな環境に感謝し

楽 文化・芸術を楽しみ

学 共に生涯学び続ける

ことにより、三ガク都に象徴される松本らしさを「シンカ」（進化・深化）させることを基本理念として掲げます。

基本構想 2030のイメージ

基本理念

豊かさと幸せに 挑み続ける 三ガク都

私たちは、

- 岳** 自然豊かな環境に感謝し
- 楽** 文化・芸術を楽しみ
- 学** 共に生涯学び続ける

三ガク都に象徴される松本らしさを「シンカ」させる

行動目標

基本理念の実現に向けて、市民と行政が共に取り組む、5つの行動目標です。

● みとめる

自分らしく生き、支え合う

● まなぶ

共にはぐくみ、学ぶ

● いかす

自然・歴史・文化の恵みを受け継ぎ、磨く

● つなぐ

人・街・自然をつなぎ直し、未来に贈る

● いどむ

新たな価値を創造し、常に進化する

行動目標

みとめる

自分らしく生き
支え合う

基本理念の実現に向け
市民と行政が共に取り組む
5つの行動目標

【各行動指針に共通する視点】

- ① 世界の潮流
- ② 柔軟性
- ③ 持続可能性
- ④ 質の追求
- ⑤ テクノロジー
- ⑥ 多様性・共生
- ⑦ チャレンジ

まなぶ

共にはぐくみ
学ぶ

いどむ

新たな価値を
創造し、常に
進化する

つなぐ

人・街・自然を
つなぎ直し
未来に贈る

いかす

自然・歴史・文化の
恵みを受け継ぎ
磨く

松本の地域特性を活かした
循環型社会を実現し

一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまちをつくる

計画策定の視点と構成

何のために・・・第11次基本計画の目的

- 一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまちをつくる。
- 松本の地域特性を活かした循環型社会を実現する。
- 三ガク都に象徴される松本らしさを「シンカ」させる。
- 市民の具体的な行動（アクション）を支える。

何を・・・政策の方向性・重点戦略・基本施策

政策の方向性

「人」を中心としたまちづくりのあり方を3つの階層に分けて整理し、これを「政策の方向性」として、松本のまちのシンカに挑みます。

① まちの土台になる「安全・安心」のシンカ

安全・安心で健やかに暮らし続けるために、未来に続く、しなやかなまちをつくる。

② まちの主役になる「ひと・地域」のシンカ

ひとや地域の新たなチャレンジを後押しするために、共に育み、支え、学び続けることのできるまちをつくる。

③ まちの豊かさになる「価値・魅力」のシンカ

新たな価値や魅力を創出するために、ひとや地域のポテンシャルを最大限に活かしたまちをつくる。

重点戦略

「ゼロカーボン」と「DX・デジタル化」を重点戦略として位置付け、政策を推進します。

重点戦略1

ゼロカーボン

地球規模の最重要課題であり、まちづくりの大原則となるゼロカーボン推進

重点戦略2

DX・デジタル化

まちのシンカを加速するためのDX・デジタル化

基本施策

組織や分野の枠にとらわれない取組みを進めるため、「政策の方向性」を全ての施策に共通する横串しとして位置付けるとともに、まちづくりの具体的な各論である「基本施策」を7分野、47施策にまとめました。

| | | | |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 分野1 | こども・若者・教育 | 分野5 | 都市基盤・危機管理 |
| 分野2 | 健康・医療・福祉 | 分野6 | 経済・産業 |
| 分野3 | 住民自治・共生 | 分野7 | 文化・観光 |
| 分野4 | 環境・エネルギー | | |

基本構想 2030

キャッチフレーズ

豊かさと幸せに 挑み続ける 三ガク都

基本理念

岳： 自然豊かな環境に感謝し
楽： 文化・芸術を楽しむ
学： 共に生涯学び続ける ことにより

三ガク都に象徴される松本らしさを
「シンカ」(進化・深化) させる



改めて「人」を中心としたまちづくりのあり方を考える

第11次基本計画



重点戦略

重点戦略①
ゼロカーボン

重点戦略②
DX・デジタル化

基本施策

分野1
こども 若者
教育

| | | | | | | | |
|----------------|----------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|
| 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 1-6 | 1-7 | 1-8 |
| 結婚・出産・子育て支援の充実 | 質の高い保育・幼児教育の実現 | 個性と多様性を尊重する学校教育 | 子どもにやさしいまちづくり | 未来につながる子ども福祉の充実 | 若者が活躍できる環境づくり | ニーズに応じた生涯学習の実現 | 全ての世代にわたる食育の推進 |

5年間で推進する具体的な取組み

分野2
健康 医療
福祉

| | | | | | |
|---------------|--------------|--------------|-----------------|----------------|---------------|
| 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 2-5 | 2-6 |
| 切れ目ない健康づくりの推進 | 保健衛生・生活衛生の充実 | 地域医療・救急医療の充実 | 個々に寄り添う障害者福祉の充実 | 生きがいある高齢者福祉の充実 | 暮らしを守る生活支援の充実 |

分野3
住民自治
共生

| | | | | | | |
|-----------|-----------|------------|----------------|-------------|--------------|--------------|
| 3-1 | 3-2 | 3-3 | 3-4 | 3-5 | 3-6 | 3-7 |
| 住民自治支援の強化 | 地域福祉活動の推進 | 地域防災・防犯の推進 | 働き盛り世代の移住・定住推進 | 多様な人権・平和の尊重 | ジェンダー平等社会の実現 | 国際化・多文化共生の推進 |

人を中心としたまちの「シンカ」

政策の方向性

まちの豊かさになる
「価値・魅力」のシンカ

新たな価値や魅力を創出するために、ひとや地域のポテンシャルを最大限に活かしたまちをつくる。

まちの主役になる
「ひと・地域」のシンカ

ひとや地域の新たなチャレンジを後押しするために、共に育み、支え、学び続けることのできるまちをつくる。

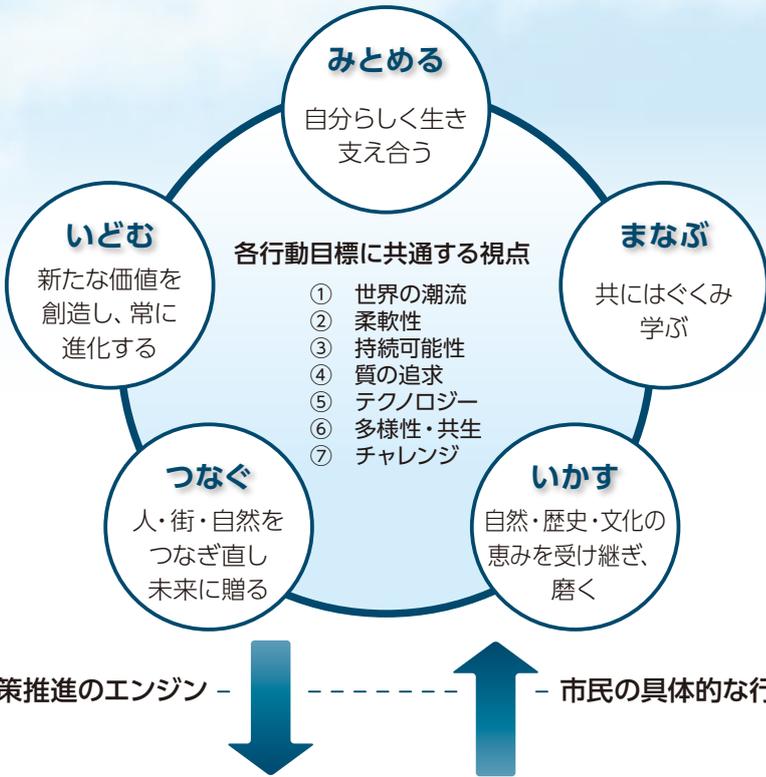
まちの土台になる
「安全・安心」のシンカ

安全・安心で健やかに暮らし続けるために、未来に続く、しなやかなまちをつくる。

行動目標

基本理念の実現に向け、市民と行政が
共に取り組む5つの行動目標

目指すまちの姿



市民の行動

一人ひとりが豊かさや幸せを実感できるまち
松本の地域特性を最大限に活かした循環型社会

(7分野・47施策)

| 分野4 環境 エネルギー | 分野5 都市基盤 危機管理 | 分野6 経済 産業 | 分野7 文化 観光 |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 4-1 再生可能エネルギーの導入促進 | 5-1 松本城を核としたまちづくり | 6-1 新商都松本の創造 | 7-1 豊かさを育む文化芸術の推進 |
| 4-2 3R徹底による環境負荷軽減 | 5-2 地域交通ネットワークの拡充 | 6-2 ものづくり産業の活性化 | 7-2 歴史・文化遺産の継承 |
| 4-3 自然・生活環境の保全 | 5-3 自転車活用先進都市の実現 | 6-3 雇用対策と働き方改革の推進 | 7-3 スポーツを楽しむ環境の充実 |
| 4-4 森林の保全・再生・活用 | 5-4 交通需要に即した道路整備 | 6-4 持続可能な農業経営基盤の確立 | 7-4 変化する時代の観光戦略 |
| | 5-5 広域交通網の整備推進 | 6-5 異業種連携による食産業の振興 | 7-5 世界に冠たる山岳リゾートの実現 |
| | 5-6 バランスの取れた土地利用 | 6-6 地域特性を活かした新産業の創出 | |
| | 5-7 緑を活かした魅力あるまちづくり | | |
| | 5-8 上下水道の基盤強化 | | |
| | 5-9 危機管理体制の強化 | | |
| | 5-10 防災・減災対策の推進 | | |
| | 5-11 将来にわたる公共インフラの整備 | | |

まちづくり(行政の行動)



豊かさと幸せに 挑み続ける 三ガク都

- 岳** 自然豊かな環境に感謝し
- 楽** 文化・芸術を楽しむ
- 学** 共に生涯学び続ける

松本市総合計画<ダイジェスト版> 令和3年9月

発行：松本市 総合戦略局 総合戦略室
〒390-8620 松本市丸の内3番7号
TEL 0263-34-3000 (代表)

総合計画の詳細はコチラから！

松本市総合計画

検索